

令和7年度 高等学校「書道」実技研修（仮名の書） 実施要項

1 目的 芸術科（書道）における専門的な知識・技能を身に付け、生徒の資質・能力を育成するための実践的な指導力の向上を図る。

2 対象 高等学校及び支援学校（高等部）の教員

募集人数 20名

3 日時等

| 回 | 日時 | 主題等 | 講師等 |
|---|-------------------------|--|---|
| 1 | 7月25日（金） 14:00～17:00 | 「仮名の書」の授業実践について 生徒の学びの視点に立った仮名指導とは 〔実践発表・講義・演習・協議〕 | 大阪樟蔭女子大学 教授 八巻 敏幸 府立高等学校 指導教諭等 大阪府教育センター 指導主事等 |

4 会場 大阪府教育センター附属高等学校（大阪市住吉区苅田4丁目1番72号）

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約1,200m
JR 阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,600m
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,500m

5 その他

- (1) 受付は30分前から。
- (2) 来所時には、所属名・名前が入った名札を着用すること。
- (3) 研修会場に、自家用自動車・バイク等の駐車はできません。
- (4) (受講決定後～当日) Plant で、事前連絡や課題等がないか確認すること。
- (5) 問い合わせ等は、大阪府教育センター高等学校教育推進室（06-6692-1882）まで行うこと。

6 担当室 高等学校教育推進室

令和7年度 高等学校「書道」実技研修（仮名の書） シラバス

3392

1 目的

芸術科（書道）における専門的な知識・技能を身に付け、生徒の資質・能力を育成するための実践的な指導力の向上を図る。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

| OSAKA 教職 スタンダード | 共通の指標 | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|-------|---|---|----|---|---|-----|---|---|----|----|----|----|----|----|
| | I | | | II | | | III | | | IV | | | V | | |
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 第4期 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第3期 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第2期 | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | | | |
| 第1期 | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | | | |
| 第0期 | | | | | | | | | | | | | | | |

3 研修の主題とねらい等

| 回 | 主題 | ねらい | 内容 | 準備物・事前課題 |
|---|---|---|---|--|
| 1 | 「仮名の書」の授業実践について 生徒の学びの視点に立った仮名指導とは | <ul style="list-style-type: none"> 「仮名の書」で育成する資質・能力について理解する。 「仮名の書」を指導する上で必要な知識や技能を身に付ける。 生徒が主体的に表現活動に取り組めるような学習プランについて理解する。 | <ul style="list-style-type: none"> 実践発表を通して、生徒の学びの過程を質的に高めていく、幅広い授業改善の工夫を学ぶ。 協議を通して、「仮名の書」の学習プランについて検討し、その内容を共有する。 講義を通して、「仮名の書」の表現活動を充実させるための方法を学ぶ。 演習を通して、「仮名の書」を指導する上で必要な技能を高めるための作品制作を行う。 | 準備物 <ul style="list-style-type: none"> 各学校の年間指導計画（シラバス） 学校で使用している教科用図書 授業で使用している生徒用資料（提示資料・ワークシートなど） 生徒の成果物等 大筆（半紙書き程度のサイズ） 仮名に適した小筆 仮名用墨 漢字用半紙 学校で使用している仮名用半紙 料紙 |